

事業所名：グループホーム桜の木

作成日：平成 30 年 2 月 20 日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をなくすこと。	身体拘束をしない。	・身体拘束について勉強会を増やし、職員全体がレベルアップできるようにしていく。	6 ヶ月
2	11	職員の意見や提案が言える機会を増やし、反映できるようにしていく。	職員の意見や提案が言いやすい環境作りをする。	・管理者が積極的にコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を聞くようにする。 ・両ユニット間での情報や業務の共有化をおこなう。	6 ヶ月
3	28	介護計画の記録を具体的に記載することと、事故防止のためにリスクマネジメントの対策を入念に話し合う。	介護計画の記録 実践 計画を現在よりも密におこなう。また、リスクマネジメントを強化する。	・介護計画の記録ではADL等の能力を具体的に記載する。 ・事故予防の対策を現在より時間をかけて入念に行う。	6 ヶ月
4	37	災害対策の見直し。	災害対策の強化	・近隣住民に訓練への参加を依頼する。 ・他事業所との協力体制を確立する。 ・夜間災害時を想定した訓練を行う。	6 ヶ月
5					ヶ月